科目ナンバリング	U-LAS02 20006 LJ35				
授業科目名<英訳>	近代芸術論Ｂ Theory of Modern Arts B			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 植田　彩芳子
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	水2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

テーマ：近代京都日本画史

　この授業では、明治期から昭和戦後まもなくにかけての京都における日本画の動向に焦点をあて、その変遷をたどる。具体的には、幸野楳嶺や竹内栖鳳、上村松園、土田麦僊ら、時代を牽引した日本画家の活動を軸に据える。

　京都画壇を主軸としつつ、東京の動向も視野に入れて、主要な画家の画業を個別に検討することによって、日本近代美術史に関する体系的な知識の習得を目指す。また、作品の観察や資料の調査、分析を通じて、自ら考察し、その結果を論理的に表現する能力を養う。

　毎回の授業ではコメントペーパーの提出を課し、そのフィードバックを次回の授業冒頭で行うことで、理解の定着を図る。

[到達目標]

１．京都の日本画を中心とした日本近代美術史の体系的な知識を習得できる。
２．京都の日本画について、作品を観察した上で、自ら資料を収集・分析し、その特徴を考察することができる。
３．その考察結果を、論理的かつ説得的に表現・記述することができる。

[授業計画と内容]

１　イントロダクション
２　幕末明治期の京都画壇、幸野楳嶺(1844-1895)
３　竹内栖鳳(1864-1942)の台頭
４　山元春挙(1872-1933)および同時代の画家
５　女性画家、上村松園(1875 -1949)の活躍
６　木島櫻谷(1877-1938)の動物画
７　土田麦僊(1887-1936)と国画創作協会の創設
８　小野竹喬(1889-1979)の活動
９　大正デカダンスの画家、岡本神草(1894-1933)
１０　妖艶な女性像を描いた甲斐荘楠音(1894-1978)
１１　中間総括、レポート作成のための先行研究の調査・執筆方法
１２　社会派女性画家、梶原緋佐子(1896-1988)
１３　写実から抽象へ、福田平八郎(1892-1974)
１４　小早川秋聲(1885-1966)、戦争の時代を超えて
１５　フィードバック

近代芸術論Ｂ(2)へ続く↓↓↓

近代芸術論Ｂ(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

期末テストの成績（60%）　平常点評価（40%）
平常点評価は、毎回の講義で課すコメントペーパーの記述内容により評価します。
期末テストは授業で説明した事柄についての理解度により評価します。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）
植田彩芳子、中野慎之、藤本真名美、森光彦 『近代京都日本画史』（求龍堂,2020年）ISBN:978-4-7630- 2017-8
古田亮 『近代日本画の歴史』（角川ソフィア文庫,2024年）ISBN:4044007969
草薙奈津子 『日本画の歴史　近代篇』（中公新書,2018年）ISBN:978-4121025135

[授業外学修（予習・復習）等]

美術館・博物館などに積極的に足を運び、各自で美術作品を見学すること。
毎回の授業内では、できるだけ多くの作品画像を紹介し、併せて参考文献を示す。
授業を理解し、到達目標を達成するためにも、参考文献に目を通し、自分で関連する文献・資料などを探して読む、インターネットなどで情報を検索するなど、授業外の学習を積極的に進めること。

[その他（オフィスアワー等）]

授業終了後10分間程度教室にて待機するので、質問があればその時間を利用すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]